東野小学校 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 山住 綾

- 1 日 時 令和4年 2月 9日(水) 5校時 5年生教室
- 2 学 年 第5学年 8名
- 3 単元名 大崎上島のよさを伝えよう
- 4 単元について

(1) 単元観

大崎上島は豊かな環境に恵まれた瀬戸内海の離島である。ここでは、この環境を生かして多く の方が産業を営まれている。この大崎上島では、造船業・農業・水産業などが産業の中心として 栄えている。

児童はこれまでの4年間「大崎上島学」(生活科・総合的な学習の時間)を通して、ふるさと大崎上島の産業や自然、地域について学習し、様々な体験を行ってきた。学習を通して児童はふるさとのよさに気づき、先人のつくり上げてきたものを大切にしたいという考えをもつことができるようになってきている。

これまでの学習では、元々島内で産業を営まれてきた方の話を中心に調べ学習を進めてきた。 本単元では、島内のIターンをされ産業を営まれている方々に注目して調べ学習を進めていく。 Iターンの方々から話を聞き調べ学習を進めることで、これまで自分たちが感じていた大崎上島の魅力とIターンの方々が感じている大崎上島の魅力を比較することができると考えられる。

この活動を通して学ぶことで多面的に大崎上島の魅力に気づくことができ、地域の方々とのつながりを深めると共に自分達も地域の一員として主体的に関わろうとする児童の育成につながるものと考え本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、大崎上島について調べ学習を進めることにとても意欲的である。5年生になり、自分達で調べた内容をまとめたり、発表したりすることも上手になってきている。

ファームスズキの調べ学習を行った際には、鈴木社長が I ターンされてこの島で水産業を行っていることに興味をもつ児童も多かった。調べた内容は、学習発表会や「大崎上島学」での交流会に向けて自分達で台本を作ったり、スライド資料を作ったりすることができていた。しかし、表面的に目立つ内容をまとめる傾向が強い。鈴木社長の気持ちや思いに気づくことのできる児童は少数であった。

そこで、本単元の活動を通して人の気持ちや思いをしっかりと考えながら情報を整理していく 力をつけていきたい。

(3) 指導観

指導に当たっては、Iターンの方々が感じている大崎上島の魅力や思いに焦点をあてて調べ学習を進めていきたい。また、活動の中で自分達が感じている大崎上島の魅力との比較を行わせる

ことで、多面的に考えを深めさせていきたい。

校外学習にも意欲的な児童が多いことから、全てのアポイントメントは児童自ら行うようにさせ、自主的に学習を進めていくことの楽しさを味わわせたい。そのことにより、調べ学習に対する考えをより深いものにしていくことができると考える。また、地域の方々との関わりを通し、相手の思いに触れることで、よりふるさとに対する愛着をもったり、1から自分達で学習していく達成感を味わわせたりしていきたい。

本時においては、調べ学習から得た情報を整理・分類・分析する学習を中心に行っていく。そして、整理した情報とこれまで自分達が習得している情報を比較させる。この活動を通して、大崎上島の魅力についての考えを深めさせていきたい。

5 単元の目標

- ○大崎上島のよさに興味・関心をもち、これまでの学習を振り返ることができる。
- ○適切な方法で情報を収集・整理し、内容を効果的にまとめることができる。
- ○大崎上島の産業を調べる活動を通して、ふるさと大崎上島に対する誇りと愛着をもち、 自分にできることを考え実践しようとする態度を育てる。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・情報収集の活動を通して、I	・複数の事柄や資料などの情	・「大崎上島のよさを伝える」	
ターンの方が感じている大崎	報を整理し、友だちと協働し	という活動を通して, 自分や	
上島の魅力と自分達の感じて	て課題を解決することができ	友だちの良さ、成長を自覚し	
いる大崎上島の魅力を分類・	ている。	ようとしている。	
比較しながら整理し、表現す			
ることができている。			

7 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

(1) 育成しようとする資質・能力及び態度(○は本単元において育成しようとする資質・能力)

創造力		・他者と協働しながら、よりよい知恵を出したり、修正・補 足したりしながら物事を創造することができる。
豊かな思考力・判断力・表現力	0	・主体的,協働的に問題を発見し,解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けることができる。 ・言語能力,情報活用能力(情報モラルを含む),問題発見・解決能力を身に付けることができる。 ・既有の知識や技能を活用して,問題解決を図っていく力を身に付けることができる。 ・自分の思いや考えを,相手意識や目的意識をもって,効果的な表現方法を用いて,分かりやすく表現することができる。

主体性	0	・何事にも主体的に取り組み、意欲をもって行動することができる。
同復力、耐えて力		・困難な状況でも粘り強く取り組み、最後まで諦めずやり
回復力・耐える力		きることができる。
多様性・協働性・コミュニケー		・他者の価値観や多様性を尊重する態度を身に付け、協働
	0	して活動することができる。
ション		・他者と協働するためのリーダーシップやチームワークを
		身に付けることができる。
		・大崎上島に魅力を感じ、ふるさとに誇りと愛着をもつこ
郷土を担う使命感		とができる。
		・これからの大崎上島や将来の自分のためにできることは
		何かを考え,行動することができる。

- 8 本単元のパフォーマンス課題およびそのルーブリック
 - (1) パフォーマンス課題

大崎上島の魅力を感じて島に来られている | ターンの方を紹介するリーフレットを作成し、4年生 に紹介しよう!

- (2) パフォーマンス課題の評価項目およびそのルーブリック
- ① 工夫すること ② 友だちと関わること ③ チャレンジすること

	探究に向かう態度や毎時の記録、事後評価アンケートの記述		
	①工夫すること	②友だちと関わること	③チャレンジすること
A	Iターンの人にインタ	情報を整理・分類・分析	学習の計画を進んで立て
	ビューを行い必要な情	する際に、友だちの考え	て, 自ら進んで情報収集を
	報を集め、整理・分類・	を柔軟に受け入れ, 自分	行うための準備を行う。
	分析し資料としてまと	の考えに取り入れること	
	めることができる。	ができる。	
В	Iターンの人にインタ	情報を整理・分類・分析	学習の計画を友だちと協
	ビューを行い必要な情	する際に,友だちに相談	力しながら立て、情報収集
	報を集め、整理・分類・	しながら自分の考えをま	を行うための準備を行う。
	分析ができる。	とめることができる。	
С	情報を集めることがで	友だちの考えを受け入れ	情報収集を行うための準
	きない。	たり、参考にしたりする	備を行うことができない。
		ことができない。	

9 指導計画(全15時間)

時		学習内容	評価
第1次	1/15	・大崎上島の魅力について,自分達の考えを振り返	知
課題の設定		る。	主
 整理・分析		・パフォーマンス課題の設定をする。	
情報の収集		・情報収集の手立てを考える。	
	2/15	・Iターンの方の情報を収集するため島の観光案	思
		内所を訪問する。	主
	3/15	・インタビューを行う相手を決め, 自分達でアポイ	思
		ントメントを取る。	主
	4~6/15	・ I ターンの方にインタビューを行い, 情報収集を	思
		行う。	主
第2次	7/15	パフォーマンス課題の確認をする。	思
課題の再設定	(本時)	・情報収集した内容を整理・分類・分析する。	主
情報の収集	8/15	・情報を整理・分類・分析した結果を振り返り、こ	思
整理・分析		れからの学習の計画を再設定する。	主
まとめ・表現			
	9/15	・自分達がまとめた情報を資料としてまとめる。	知
			主
第3次	10/15	・まとめた資料を観光案内所の方に発表する。	知
情報の収集・整理・			主
 表現			
 実行	11~13/15	I ターンの方を紹介するリーフレットを作る。	知
			主
	1 4 / 1 5	・出来上がったリーフレットを4年生に紹介する。	主
第4次	15/15	・情報収集の活動を振り返り,楽しかったことや嬉	思
まとめ・ふり返り		しかったこと,気づいたことなどをまとめる。	主

10 本時の授業について

- (1) 本時の目標
- ○集めた情報を整理・分類・分析することで、大崎上島の魅力について考えを深めること ができる。

(2) 本時の展開 (7/15)

		指導上の留意点(○)	評価規準【評価方法】
	1 本時の学習課題を設定する。	○学習の始めにパフォ	2
	(全体)	ーマンス課題の確認	
		を行う。	
課題	○大崎上島の魅力について自分達	○これまでの学習を通	 ○自分の感じている
設定	の考えを交流する。	して考えが変化した	大崎上島の魅力に
	・海がきれい。	ことをこれまでの考	ついて考えること
	・穏やかな気候で農作物を育てや	えに付け加えること	ができている。 【発言】
	すい。	ができるようにする。	
	・海の生き物が多い。		
	・地域の人が優しくて暮らしやす		
	٧٠°		
	本時の課題		
	集めた情報を整	理・分類・分析しよう。	
情報	2 Iターンの方へのインタビュー動画		
収集	から情報を集める。		
	○大崎上島の魅力やⅠターンの方	○グループごとにイン	
	の思いについて中心にまとめ	タビューを行った動	
	る。	画を見て,必要な情報	
	・他の地域には無い、温かみが大崎	を収集する。	
	上島にはある。	○Ⅰターンの方の思い	
	・野菜を作るためにとてもよい土	についても考えさせ	
	があったり,ミネラルを多く含	ていく。	
	み潮風が吹いていたりする。		
	・山から流れる水に含まれる栄養		
	分と海水に含まれる栄養分のバ		
	ランスがとてもいい。		
	・働いた後の疲れを癒してくれる		
	風景が大崎上島にはある。		

3 集めた情報を整理・分類・分析す 整理 分析 る。 ○グループごとに集めた情報を交 | ○なぜ大崎上島を選ん でIターンしてきた 流する。 ・自分達が思っていたより違う考 のかについてしっか え方をもって島内で生活してい りと分析させる。 るね。 ・ぼく達が感じている大崎上島の 魅力と同じことを感じている人 もいたね。 ・わざわざ大崎上島に来て仕事を されている理由が分かった気が する。 表現 4 Iターンの方が感じている魅力を ○自分達の考えと比較 ○自分達の感じてい まとめる。 することで,より深く 豊かな環境。 る大崎上島の魅力 ・他の地域にはない温かい人々と 大崎上島の魅力につ とまとめられた情 いて考えさせる。 報を比較しながら のつながり。 ・心を癒してくれる風景。 考えを深めること ・生産に適した環境。 ができている。 穏やかな気候。 【発言】 まとめ 自分達の考えと I ターンの方の 考えには違う所があった。 5 振り返り、次時への学習の見通し 振り 返り をもつ。 ・今日学習して分かったことを資 | ○パフォーマンス課題

の評価項目を自分た

ちでチェックできる

ようにする。

料としてまとめたい。

に発信したい。

・自分達が知るだけではなく他者

11 板書計画

2/9 「大崎上島のよさを伝えよう」 めあて

集めた情報の整理・分類・分析をしよう。

まとめ

I ターンの方が感じているみ力 と自分達が感じているみ力に は,同じ所も違う所もあった。

自分達が感じている み力

- ・海がきれい。
- ・穏やかな気候で農

作物を育てやす

61

Aグループ

Bグループ

Cグループ

I ターンの方が感じ ているみ力

- ・豊かな環境。
- ・他の地域にはない

温かい人々とのつ

ながり。